

平成25年度事業計画

(経理単位名) 学校法人 東京医科大学本部

各施設における主な事業計画

1. 法人本部

- ① 中期計画の推進
- ② 財政基盤の強化
 - ・ 創立100周年事業に向け募金委員会を中心とした募金活動を実施
 - ・ 資金運用の効率化(限られた資金での効率的な運用の検討・実施)
- ③ 機器備品及び医療関係経費の購入方法の改善
 - ・ 教育研究用機器備品、診療用機器備品及び医療関係経費の一括購入・競争入札など調達方法の合理化推進による経費の削減
- ④ コンプライアンスの講演会及び取組状況モニターの実施
- ⑤ 職員満足度調査の実施
- ⑥ 広報担当者の研修
- ⑦ 職員の人事評価制度の段階的導入
 - ・ 評価制度、教育(研修)制度、昇任・昇格制度の見直し
 - ・ 評価者訓練の実施
 - ・ 目標管理基準の策定
- ⑧ 障害者雇用の推進
- ⑨ 労働契約法の改正に伴う対策の検討
- ⑩ ペーパーレス化推進の検討(給与明細書等のWeb化)
- ⑪ メールサーバの拡充
- ⑫ 学内LANトラフィックの帯域制御による回線利用効率化

2. 西新宿キャンパス建設本部

- ① 西新宿キャンパス再開発整備事業
 - ・ 新教育研究棟の竣工(平成23年度着工)
 - ・ 新教育研究棟の竣工に伴う移転および什器備品等の整備
 - ・ 関係行政機関、地権者等との協議
 - ・ 新大学病院建設に関するNHP(ニューホスピタルプロジェクト)による検討および基本設計、実施設計、構造評定・建築確認申請等の実施

3. 東京医科大学

(1) 学事関係(医学科)

- ① 海外教育交流校及び姉妹校への学生派遣、受け入れ推進(派遣学生については旅費の一部を補助)
- ② 教員の能力開発に関するワークショップの開催
- ③ 国家試験対策の強化として第6学年夏期・冬期強化授業及び特別補講授業の継続実施
- ④ 第4学年CBT対策強化授業
- ⑤ 学生生活の福利厚生向上のため記念会館地下食堂の改修
- ⑥ 共用試験CBT受験環境の整備

- ⑦ 第2学年に総合試験を導入
- ⑧ 新入生学外オリエンテーションの充実
- ⑨ 進学説明会への参加
- (2) 学事関係（看護学科）
 - ① 設置計画に則った教育体制、授業計画、学生指導等の着実な履行
 - ② 設置計画に則った教育環境（備品、図書、視聴覚機材等）の着実な整備
 - ③ シミュレーション教育の体制及び環境整備
 - ④ オープンキャンパス、ホームページ、進学サイト、進学雑誌、高校訪問等による広報活動
 - ⑤ 一般入試に加え、センター試験利用入試、推薦入試、社会人入試の検討・実施
- (3) 研究関係
 - ① 外部資金（公的研究費・受託研究費・民間助成金等）の獲得強化
 - ② 公的研究費管理システムによる研究者支援業務の拡充
 - ③ 公的研究費の適正管理・運用の推進
 - ・ 公的研究費等に係るFAQ等のホームページ機能充実
 - ・ 不正防止策の策定
 - ・ 監査・モニタリングの強化
- (4) 施設設備の充実
 - ① 施設関係
 - ・ 第一看護学科棟新築工事
 - ・ 共用試験C B T受験会場整備工事
 - ・ 記念会館地下食堂リニューアル工事
 - ② 設備関係
 - ・ 高性能医療トレーニングシミュレーションセット（看護学科）
 - ・ 共用試験C B T受験会場の機器等整備
 - ・ 図書館（新教育研究棟移転時）の機器等整備

4. 東京医科大学病院

(1) 病院の経営改善方針（ビジョン・戦略等の重点目標）

医療安全、感染制御、個人情報管理を中心に多職種が連携して安心・安全な医療の提供ができるよう、組織を再構築し人材を適正に配置する。また、各診療科との緊密な連携により、事故を未然に防ぐ能動的な安全管理を推進する。

経営収支の改善のためには病院全体のシステムを改善させるだけでなく、各診療科の問題点を洗い出し、個別にも改善させることが重要である。具体的には医師主導の病床稼働率の改善とD P Cに占める経費率の軽減をめざす。また、入退院と病診連携を円滑に行うために総合相談支援センターの機能を強化する。

さらに職員のやる気を維持し優秀な人材を確保するために、業務負担軽減策を実施し、インセンティブや手当の支給などによる待遇の改善をはかる。

(2) 安全管理・診療体制の充実

- ① 医療安全対策の充実 （各種会議の内容と運用の見直し及び安全関連情報の周知方法の改善）
- ② 院内感染リスクの抑制 （職員の行動面の向上及び環境面の改善）
- ③ 地域医療連携の充実 （紹介率・逆紹介率の引き上げ等）

④ 災害発生時の対応能力の向上 (病院事業継続計画の策定及び継続した訓練の実践)

(3) 医療収入の増収策・経費の削減策

① 医療収入の増収策

- ・各診療科での収入目標値の設定・管理 (入院・外来)
- ・病床稼働率の向上 (入院)
- ・手術枠の調整による手術実績の向上 (入院)

② 経費の削減策

- ・法人ベースでの医療材料の調達一元化による医療経費削減の推進
- ・DPCの効率化による医療資源の節減
- ・井水の有効活用による水道使用料の削減
- ・経費節減チームによる徹底した無駄の排除

(4) 施設設備の充実

① 施設関係

- ・本館3階外来診察室改修工事
- ・本館ナースステーション等既設コンセント設備改修工事
- ・本館外来部門誘導灯取替工事(長時間型LED)
- ・新教育研究棟病院情報システム配線工事
- ・既存建物解体に伴う教育棟ロッカー室等転用工事

② 設備関係

- ・臨床検査システム更新
- ・生化学自動分析装置等各種検査測定装置更新
- ・救命救急センター長期人工呼吸器等設備更新(東京都補助金)
- ・電動リモートコントロール低床ベッド更新(13階東)
- ・診療費明細書発行システム新設

5. 東京医科大学茨城医療センター

(1) 病院の経営改善方針(ビジョン・戦略等の重点目標)

地域の医療関係機関、行政、住民と適切な連携をとり、地域医療への貢献を更に充実させ、地域における拠点病院となるよう、地域医療連携(病病連携、病診連携)の一層の推進を図る。

(2) 安全管理・診療体制の充実

- ① 安全性の向上 (安全管理マニュアル遵守)
- ② 保険診療の適正化 (診療録点検の徹底)
- ③ 政策医療の継続 (4疾患5事業への積極的取り組み)
- ④ 地域医療連携の推進 (病病連携・病診連携の強化)

(3) 医療収入の増収策・経費の削減策

① 医療収入の増収策

- ・病床の効率的な運用 (入院)
- ・紹介患者数の増加 (外来)
- ・病病・病診連携を強化し逆紹介を積極的に行なう。

② 経費の削減策

- ・省エネルギー対策の推進

(4) 施設設備の充実

① 施設関係

- ・ HCU設置改修・救命救急医療棟（仮称）新築工事
- ・ 南病棟 1 階改修工事
- ・ 人工透析棟改修工事
- ・ 中央病棟外壁改修工事
- ・ 放射線治療システム導入に伴う改修工事

② 設備関係

- ・ HCUモニター等機器
- ・ 多人数用透析監視装置
- ・ 放射線治療システム

6. 東京医科大学八王子医療センター

(1) 病院の経営改善方針（ビジョン・戦略等の重点目標）

「患者さんと共に歩む医療」、「頼りになるセンター」、「東京医科大学の職員としての誇り」を基本理念に、患者さまとの信頼関係を築き、誠実で安全な開かれた医療の提供と良質な先進医療を実践し、地域中核病院としての地位向上を目指す。

また、地域医療連携の推進強化と急性期病院としての使命を果たし、医療の安全と質の向上を目指すとともに診療体制の充実、さらにDPCの適正運用とDPC分析ソフトの活用により医療収入の増収を図る。経費の削減においては、医療経費及び一般経費の見直しや効率的な物品管理を可及的速やかに実施することにより削減を図る。

さらに、大学の附属病院として、高度な医療の提供をするとともに、教育研修病院としての機能の充実を図る。そして、女性医師/看護師の離職防止と募集対策並びに研修医の更なる確保と住環境の充実のため保育園・研修医宿舎を建設する。

(2) 安全管理・診療体制の充実

- ① 適切な保険診療体制の確立（電子カルテの早期導入を含む）
- ② 医療事故の防止（医療安全への啓蒙活動）
- ③ 災害拠点病院としての充実
- ④ 紹介率・逆紹介率を高める（分析データに基づいた訪問活動）

(3) 医療収入の増収策・経費の削減策

① 医療収入の増収策

- ・ DPCの適正運用と診療科別分析による増収（DPC分析ソフトの活用）（入院）
- ・ 入院患者数の確保（入院）
- ・ PET-CT稼働による増収（外来）
- ・ 新設した救命救急ベットによる増収（入院）

② 経費の削減策

- ・ 効率的購入の推進
- ・ ジェネリック薬品への切り替え並びに使用の促進
- ・ エネルギーの効率的な使用

(4) 施設設備の充実

① 施設関係

- ・ 保育園・研修医宿舎新築工事（2ヶ年計画）

- ・ A館電気室変圧器更新工事（第三期分）
- ・ 中央監視装置更新工事（第二工区分）
- ・ 屋外高圧電気引込ケーブル更新工事（本線・予備線）
- ・ A館解剖室排水処理施設設置新設

② 設備関係

- ・ フラットディテクタ搭載・2方向心血管アンギオグラフィシステム更新
- ・ カルテ管理制御装置更新

7. 東京医科大学看護専門学校

(1) 重点目標

教育理念・目的に基づき、質の高い教育の提供を行い、社会に貢献できる質の高い卒業生を育てる。

(2) 学事関係

① 教育の質の維持・向上に向けた取り組み

- ・ 教員の確保と定着に向けた取り組み
- ・ 新入教員を含めた教員および非常勤講師との連携の強化

② 看護師国家試験対策の強化

③ 平成28年閉校に向けて単位未認定者の減少のための取り組み

④ 本学大学病院への入職者増加および卒業生の定着に対する支援

（関係部門との連携・協力体制の継続強化）

⑤ 教育の質向上のための教育研究・研修の取組継続

⑥ 看護学科運営に対する連携と協力

(3) 管理関係

① 平成28年閉校に向け、教職員組織機能の維持と職員の自己効力感のある職場環境の維持への取り組み

② 看護専門学校50周年記念行事の準備～実施

- ・ 式典・祝賀会（平成25年10月5日予定）および記念誌の発行

③ 平成28年閉校に向けた学内書類等の整理へ向けた取り組み

④ 学生向けアメニティの充実（基礎新館4階給湯器の更新等）

⑤ 学生用災害時の備蓄品整備

⑥ 教員室PC環境の整備

8. 東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校

(1) 重点目標

看護職として必要な専門知識および看護技術を身につけることはもとより、母体となる茨城医療センターでの実践実習の中で、教養を高め迅速な判断力を養い、倫理観を備え調和のとれた人格の形成を行うことに力点をおき、厚生労働省が推進する「チーム医療に資する看護師」の育成を図る。

(2) 学事関係

① 教育の質の向上および効果的評価による授業改善

- ・ 評価体制の整備、評価方法の見直し

（授業評価の実施、評価結果のフィードバック、実習施設との連携強化、卒業時看護技術到達

度に基づく技術演習の参観体制)

- ・職域を越えた連携の重要性の習得に向けた積極的な取り組み

② 看護師国家試験合格率の向上

- ・国家試験対策を強力かつ計画的に実施し合格水準の向上
- ・学生の基礎学力の向上

③ 本学への就職率向上および卒業生定着に対する支援

- ・本学関係機関との連携および強力体制の強化（本学看護学科等への編入等の検討）
- ・進路ガイダンス、就職説明会（認定看護師による経験談）の実施
- ・卒業生の動向・就職先評価の把握

④ 教職員教育の充実

- ・教職員の指導技術の向上（指導法検討会等の実施）
- ・看護学士取得への修学支援
- ・臨地実習における成績評価の客観性や精度の向上
- ・外部講師、他教員講義への聴講参加、教育方法の向上

(3) 管理関係

① 質の高い学生の確保・受験生の質の向上

- ・効果的な学校PR・募集要項の充実（オープンキャンパス等）
- ・ホームページの改善、魅力的な広報活動

② 学習環境の改善

- ・図書室の充実（蔵書数を増やし利用率の向上）
- ・病院施設・教室の有効活用